

碧南の図書館友の会会報

航海日誌

碧南の図書館友の会編集

碧南市鶴見町1-70-1

電話 0566(41)0894

No. 125 2018年 9月

編集責任者 広田吉一

第25回音楽と朗読の夕べ」は七夕の夜に行われました。



台風の影響や発達した梅雨前線、週末のお天気は悪く、天の川も織姫さま彦星さまも眺めることのない残念な七夕でしたが、友の会の仲間たちはこのイベントを楽しみにしている皆さまのために天候を気にしながら準備をいたしました。

開場前より図書館の玄関でお待ちくださったお客様も見えました。開演も遅れることなく211席が埋まりました。

第一部の「朗読を楽しむ」は夢クラブさんの人形劇「タンタンのハンカチ」そして、かざぐるまさんのペーパーサート「おたまじゃくしの101ちゃん」でした。

おたのしみ抽選会に続き「お茶を楽しむ」時間ではオレンジジュースアイスコーヒーを飲みながら「ガイア」のクッキーをいただきました。

今年の「音楽を楽しむ」演奏は、碧南市出身のピアニスト奥村百合名さんをお願いしました。七夕やお星さまを意識した選曲でした。田中カレン作曲「星のどうぶつたちより きりん りゅう はくちょう」

モーツァルト作曲きらきら星変奏曲など。

最後はだれもが大好きなディズニーアニメのメロデーでしめくられました。ピアノ演奏はもとより曲の紹介もご自身にいただき、和やかな雰囲気ですごすことができました。





絵本作家いわむらかずおさんの作品です。胸ポケットの赤いハンカチが「おおきなあれ。ハンカチ カーチカチ」のおまじないで次々と楽しい遊びを考え出します。



「だるまちゃん」シリーズでおなじみの絵本作家かこさとしさんの作品です。今年の5月に92歳でお亡くなりになりました。「おたまじゃくしの101ちゃん」は1973年発表の絵本です。

音楽と朗読の夕べ 世話人を経験して

今年、初めて音楽と朗読の夕べの世話人をする事になりました。小さな子供が参加するイベントのお手伝いは初めてでした。ベテランの世話人の方の適切な指示に従って、後をついていだけ形になりましたが、何とか乗り切ることができホッとしています。

私は、別の後援会の、聴講をするために、30分ほど準備に遅れて参加しました。皆さんが精力的に仕事をされたのか、私が到着した時には、準備はほとんど終わっていました。

当日は、雨が強かったにもかかわらず、小さな子供たちが沢山参加してくれました。会場は、結構一杯になり盛り上がっていました。私の孫は遠くに住んでいるので、参加できませんでしたが、近くにいるのであれば、ぜひ参加させたいと思いました。

お話を楽しむ人形劇や朗読では、小さな子が熱心に聞いているのが印象的でした。ピアノ演奏は、親しみやすい曲が多く、途中でクイズを用意するなど、工夫されていることがよくわかりました。出演者も世話人も、いろいろと考えて一体となって参加者を盛り上げているのが判りました。景品をもらったり外れたりしながらも、参加者が満足そうな笑顔で帰って行かれたのが、印象的でした。

世話人の皆さんの努力で、無事に行事を終わらせることができ、来年も、多くの方がリピーターとして参加してもらえそうな気がしてきました。

キリーク 小島逸男



お姫様のようなキラキラのドレスにちいさなお客様たちもうっとりしていましたよ。



大迫力のタガメとザリガニのペープサートです。

音楽と朗読の夕べを手伝って

横なぐりの雨の開場。「10分前だけど、どうする？」職員さんの「開けましょう。」の合図にホッ。(だってかわいいお客さんと目が合ったんです。)傘もカッパも上手に始末して入場してくれました。「いいものが当たるから大事に持っててね。」と半券を渡し、順に二階へ上がってもらいました。受付だったので上から聞こえる笑い声や楽しそうな気配にソワソワ。ペープサート「おたまじゃくしの101ちゃん」に間に合って、ザリガニの迫力にびっくり。加古里子先生の作品だったことに感慨。お茶タイムでは、小さい子供さんが多いので、ちゃんと渡せるかしら、こぼさないかしらとぼんやり考えていたけれど、やっぱり25回目は、もてなす方も受ける方もどちらも大丈夫。経験ってスゴイと思いました。お役の後にはピアノ演奏をゆったり気分で楽しみました。

ひびき 石川たい子

「音楽と朗読の夕べ」に寄せて

今年の4月より碧南の図書館友の会の世話人の一員となりました。月1回の会合の内容も様子もわからないまま、3ヶ月が過ぎ、大きな催事に参加しました。当日は各地で大雨警報が出ていました。開場は時間前、雨の中親子連れの姿が見えた時にはほっとしたものです。

はじめての参加なので自分の持ち場を探し、会場の進行の前半は体験できず休憩に入りました。リラックスして飲み物を口に運び、後半のピアノ演奏を皆静かに聞き、楽しい七夕の夕べを過ごしてもらえたと思っています。

小さな子供さんにこのような体験をしてあげる親御さんに頭が下がりますし、会の進行に携わられた皆さんの一方ならぬご苦勞に感謝致します。私事です大きなイベントに参加でき良い体験をさせていただきました。

万葉集を読む会 杉浦奈都子

リサイクル本バザーの収益金で購入しました。

平成29年度図書館友の会より図書館へ木製のおもちゃを寄贈しました。



外国製の木製のおもちゃ各種。本館、南部分館で貸し出し中です。人気のおもちゃは、レール&ロードです。「トラベルセット」は7件の予約待ちがあります。「採石セット」は10件の予約があります。木のおもちゃ「はりねずみのとことこ人形」予約はありませんが、いつも貸し出し中の人気のおもちゃだそうです。

平成30年度図書館友の会より図書館へ折りたたみ机と台車を寄贈しました。



リサイクル本バザーで、なくてはならない備品が「折りたたみ机と台車」です。毎年相当な重さのリサイクル本の入った段ボール箱を並べたり運んだりするのに必要不可欠です。

次回のバザーではボランティアの皆様の力強い助けになることでしょう。

平成30年度碧南の図書館友の会主催 視察見学会のお知らせ

今年も視察見学会を下記の通り計画いたします。今回は瀬戸市立図書館と瀬戸市民会館跡地に2005年に建設された施設内の「瀬戸蔵」を見学の予定です。

瀬戸市立図書館の瀬戸図書館友の会は碧南の図書館友の会を参考に設立されたということで、情報交換もできるといいと思います。

日時 11月15日(木)午前9時出発(集合8時50分)

目的地 瀬戸市立図書館、瀬戸蔵

費用 1500円くらい(昼食代他)

募集定員 22名 友の会会員に限る 多い場合は抽選

申し込み方法 9月26日(水)の世話人会にて申し込みの受付をいたします。

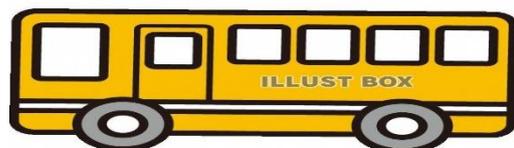
締め切りは10月24日(水)です。申し込み書を図書館「友の会」宛に郵送するか、窓口に預けてください。

瀬戸図書館友の会

図書館からの呼びかけによって、独自に図書館で活動をしていたグループや図書館でのボランティア活動を個人データ考えていた人たちが平成11年1月に60名くらいで作った組織です。現在、約100名程度が会員となっており、比較的高齢の方が多く参加され、14名の世話人が毎月ボランティア室に集まり運営を行っています。

瀬戸蔵

「せと・まるっとミュージアム」拠点施設の「瀬戸蔵」は、瀬戸蔵ミュージアムをはじめ、つばきホール、物販や飲食店舗、会議室など多くの市民や観光客が集まる施設です。



平成30年度「友の会」会員募集

会費 一人年額 500円 (平成31年3月31日まで)

運営 会で選出された世話人が相談して運営します。

入会されますと

- ・会報「航海日誌」(年5回発行、臨時号を含む)をお届けします。
- ・秋に行われる視察見学旅行への参加資格が得られます。(昼食費は自己負担)
- ・リサイクル本バザーの本の購入券(100円)と「呈茶券」を差し上げます。

お申し込み お問い合わせは

碧南市民図書館本館 TEL 0566(41)0894

◎申込用紙は図書館本館カウンターにもありますので、おたずねください。